

各 位

上場会社名	株式会社 サンウッド
代表者	代表取締役社長 中島 正章
(コード番号)	8903)
問合せ先責任者	常務取締役 経営企画本部長 岡本 真人
(TEL)	03-5425-2661)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	180	100	50	1,317.11
今回発表予想(B)	7,660	△20	△250	△200	△5,268.43
増減額(B-A)	△2,340	△200	△350	△250	
増減率(%)	△23.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	23,088	2,046	1,752	466	12,076.48

修正の理由

売上高につきましては、当初目論んでおりました事業用地の販売に関して、昨今の不動産市況の停滞及び金融環境の変化等により、売買契約等の段階にまで至っておらず、平成22年3月末までに売上計上することが困難な見込みとなったこと、また、当上半期に体制整備を行った不動産仲介事業における売上が予想通りに計上される可能性が薄くなったことから、前回発表の予想売上を下回る76億6千万円となる見込みであります。

従って、平成22年3月期の第4四半期の売上高につきましては、概ね当初予想通りの売上が見込めるリフォーム事業、および仲介事業が主な売上高となる見込みです。

この売上高の下振れにより、利益額も減少する見込みであります。

営業利益段階においては、前回発表の予想値比約3億5千万円減少する一方で、事業用地として売却致しました「横浜北仲プロジェクト」の売上総利益が、見込んでおりました金額より増加する見込みとなりますので、最終的には前回発表の営業利益より2億円減少し、2千万円の営業損失となる見込みであります。

経常利益段階においては、営業外収益が当初の見込み額を下回ることから、前回発表の予想値と比較して3億5千万円の減少となる見込みで、2億5千万円の経常損失を計上する見込みであります。

当期純利益段階においては、一部繰延税金資産の計上により、前回発表予想値より2億5千万円減少し、2億円の当期純損失となる見込みであります。

なお、配当につきましては、平成21年5月15日付「平成21年3月期決算短信」で公表致しました期末配当予想1株当たり2,500円を変更する予定はありません。

(注)

上記の業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現時点で得られた情報にもとづいて算定しておりますが、不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる結果となりうる可能性があります。

以 上